

くす通信

第275号
2024年1月1日

国立病院機構熊本医療センター 発行

臨床工学技士より

臨床工学部門について



「くす(樟)」の由来について

くす(樟)は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。また、くすし(薬師)とは、医師のことを指し、くすしぶみ(薬師書)は医術に関する書物のことを言います。本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。

高気圧酸素治療部門

高気圧酸素療法とは、高圧環境下で患者さまに100%酸素を吸収させることにより病態の改善を図る治療法です。当院では2005年より高気圧酸素治療を開始しており、これまでに延べ6000件以上の治療を実施しています。各診療科と連携し、安全な高気圧酸素治療を提供しています。



■対象疾患■

急性一酸化炭素中毒・重症軟部組織感染症(ガス壊疽など)・頭蓋内膿腫・急性末梢血管障害(熱傷・凍傷・広汎挫傷など)・脳梗塞・重症頭部外傷・脳浮腫・低酸素血症・腸閉塞(イレウス)・網膜動脈閉塞症・突発性難聴・放射線治療および抗がん剤治療と併用される悪性腫瘍・末梢循環不全・皮膚移植・脊髄神経疾患・骨髄炎・放射線障害

救命救急部門

重症患者さまを24時間体制で管理しているICU・CCU・救命救急病棟では、人工呼吸器をはじめ数多くの医療機器を使用しています。それらの操作および管理を臨床工学技士が行っています。



■代表的な業務■

- ①人工呼吸器管理ラウンド
- ②補助循環装置操作および管理
- ③急性血液浄化療法(CRRT・PMXなど)の管理

- ④低体温療法装置の操作および管理
- ⑤各種医療機器トラブル対応

医療機器管理部門

汎用性の高い医療機器9機種の中央貸出業務を中心に、1500台以上の医療機器を管理しています。また企画課と連携し、機器の購入・更新・廃棄を行うことに



より医療機器の一元管理を行うとともに、必要に応じて機器運用のコンサルティングも実施しています。

また、医療機器取り扱いに関する定期的な勉強会を開催しており、病棟から依頼があった場合には個別の勉強会も開催しています。勉強会を通じて、医療機器の適性使用に関する啓蒙活動を行っています。

その他業務

腎臓がんに対する凍結療法に使用する装置の操作・管理、院内のスキルアップラボセンター配置機器の管理などを行っています。また臨床工学技士の支援が求められる業務が発生した場合には、迅速かつ適切な支援ができるよう万全の体制を整えています。

学会活動

知識および技術の向上を目的に、各種学会やセミナーにも参加しています。また必要に応じて専門分野での認定資格の取得も積極的に行っています。

最後に

臨床工学技士という職業は、医師や看護師のように直接患者さまと触れ合う時間が少ない職種ではありますが、「縁の下の力持ち」として現代医療には不可欠である医療機器の管理・運用を通して患者さまに安全で質の高い医療を提供していきたいと考えています。

臨床工学部門 について

救命救急科
臨床工学技士長

とみなが けいいち

富永圭一



私たちが臨床工学技士は現代医療にとって 不可欠な医療機器の操作および管理を行う スペシャリストです

皆さんは「臨床工学技士」という職業をご存知でしょうか？あまり耳慣れない職業だと思いませんか？

病院には医師・看護師をはじめ、診療放射線技師・臨床検査技師などたくさんの医療スタッフが働いていますが、臨床工学技士も医療スタッフの一職種です。臨床工学技士は1987年に誕生した医療資格で、他の医療資格と比較すると新しい医療資格ではありますが、現代医療には不可欠である医療機器の操作および保守管理を行うスペシャリストとして医療に貢献しています。

臨床工学技士の業務は多岐にわたっており、循環・呼吸・代謝の機能を代行する生命維持管理装置の操作・管理を筆頭に、医療機器の安全かつ効率的な運用管理を主たる業務としています。

関連部署と連携し生命維持管理装置及び医療機器の操作・保守・管理・教育・運用マネジメント・コンサルティング等を行うことにより院内医療安全管理の一翼を担っています。

また全ての業務において24時間対応することにより安全で高度な医療技術を提供しています。

当院臨床工学部門の業務内容

当院臨床工学部門は生命維持管理装置を始めとする各種医療機器の操作・保守・管理と安全で効率的な運用の2つを柱とし診療技術支援および病院全体の機器

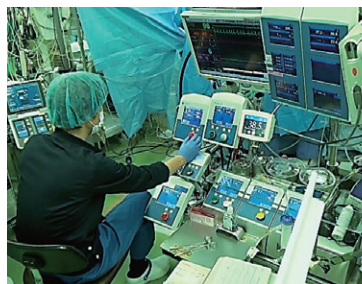
管理の一旦を担っています。

主な部門は以下のようになっています。

- 手術室部門
- 血液浄化部門
- 高気圧酸素治療部門
- 救命救急部門
- 医療機器管理部門

手術室部門

当院の手術室では年間約4500例の手術を行っており、安全かつ円滑な手術が行えるよう麻酔科医・看護師と連携して手術室運営に携わっています。



手術に関する各種臨床支援業務と併せ、手術室内医療機器管理も臨床工学技士が担っています。

代表的な業務

- ①人工心肺業務
- ②麻酔器・生命情報モニターなど各種医療機器管理（点検・修理・保守等）
- ③手術部内検査機器等の保守・管理
- ④手術部運用コンサルティング
- ⑤スタッフ向け勉強会の開催

血液浄化部門

血液浄化療法とは、血液中の不要な物質や有害な物質を除去する治療法です。代表的な治療法として血液透析があります。



当院は地域の中核施設の一つとして最新・最良の血液浄化療法を提供するとともに、常に安全に血液浄化治療ができるよう日々のメンテナンス業務にも力を注いでいます。

代表的な業務

- ①血液透析（ベッド数：20床）
- ②各種特殊血液浄化療法
血漿交換療法（PE・DFPP）
血漿吸着療法（PA）
白血球除去療法
腹水濃縮再静注法
末梢血幹細胞採取
骨髄濃縮
- ③血液浄化センター運用コンサルティング

国立病院機構熊本医療センター

- 診察日 月曜日～金曜日
 - 休診日 土・日曜日及び祝日
年未年始（12月29日～翌年1月3日）
 - 受付時間 8：15～11：00
- 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1-5
TEL 096(353)6501（代表）
FAX 096(325)2519
H P <https://kumamoto.hosp.go.jp/>

※ 形成外科のみ受付は、水曜日以外の13：30～16：30となります。

※ 一部の科では、午後に予約診療を行っていますが、新患、予約のない方の午後診療は行っておりません。急患はいつでも受診できます。